

愛知県生活基盤施設耐震化等補助金チェックシート

計画の名称:	東海市水道事業耐震化計画
事業者名:	東海市

チェック欄

I 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性	平成21年度及び平成27年度に策定した「管路更新計画」と平成30年度に策定した「東海市水道事業ビジョン」で掲げた目標と同じであり、整合は図られている。また、第3次あいち地震対策アクションプランに掲げる目標である「重要給水施設へ至る配水管の耐震化」との整合も図っている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	当地域は、大規模地震対策特別措置法及び南海トラフ地震対策特別措置法の強化地域及び推進地域に指定されており、耐震化は喫緊の課題である。	○
II 計画の効果・効率性		
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	目標に掲げている重要給水施設管路の耐震化について、PI(業務指数)である「重要給水施設管路耐震適合率」、「管路の耐震化率」及び「管路の耐震適合率」を定量的指標としており、目標との整合は図られている。	○
②定量的指標の明瞭性	定量的指標は、PI(業務指数)を用いており、広く住民にわかりやすいものとしている。	○
③目標と事業内容の整合性	事業内容は西知多総合病院等の重要給水施設に至る管路及び年々増加する老朽管の耐震化であり、目標と整合している。	○
④事業の効果の見込みの妥当性	本事業で耐震管を採用することで、震災時に重要給水施設へ安定供給することができる。	○
III 計画の実現可能性		
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)	水道事業の現状や事業内容、事業の必要性について、広報やホームページ等で住民に理解を求めるとともに、事業実施にあたっては周辺住民への事前説明を行っている。	○
②地元の機運(当該事業に係る要望等)	令和2年第1回定例会で、市議会議員から耐震化や老朽管更新に関する質問があり、地元からの関心が高い。	○